

産業経済局

一般会計要求総額
61,900百万円
(対前年度 +8.7%※融資を除く)

特別会計要求総額
2,769百万円
(対前年度 +19.8%)

令和5年度 予算要求の方針

産業経済局では、中小企業の成長・事業の継続を支援するとともに、次世代産業の誘致や育成、まちのにぎわいを生み出すこと等により、雇用の創出、地域経済の活性化、市民生活の向上を図るため、

- I 生産性の向上と次世代産業の誘致・育成
- II 中小企業振興と雇用対策
- III 観光・にぎわいづくりによる地域経済の活性化
- IV 産業振興による市民の安全で快適な暮らしの下支え
- V 原油高・資材高等における緊急経済対策

の5つの柱に沿って効果的な施策を行います。

また、今後の成長戦略として、新たな**産業振興計画**を策定します。

令和5年度 予算要求の基本的な考え方と主な施策

I 生産性の向上と次世代産業の誘致・育成

中小企業の生産性向上、カーボンニュートラルに向けた取り組みや、IT企業の誘致、次世代産業やスタートアップの支援を推進します。

- ◆ 事業者向けスクールや専門家派遣による中小企業のDX・GXの推進
- ◆ 首都圏IT企業や半導体関連企業の誘致
- ◆ スタートアップ企業の事業化や実証実験の支援
- ◆ ロボットや半導体、宇宙産業等次世代産業の振興



ロボット・DX推進センター

II 中小企業振興と雇用対策

中小企業の経営力を強化するとともに、人手不足や、高度人材の雇用ニーズに対応し、質の高い雇用の創出につなげます。

- ◆ 後継者の育成と後継者確保による事業承継の支援
- ◆ 「未経験者」から「即戦力」まで求職者のスキルに合わせたITリカレント教育



ITリカレント教育

III 観光・にぎわいづくりによる地域経済の活性化

観光資源の掘り起こしや磨き上げにより、観光産業の再生・復活を図るとともに、大規模イベント等による交流人口の増加に取り組みます。

- ◆ 「もう一か所、もう一泊」を促すプラスワン観光の促進
- ◆ 高塔山の夜景スポットの整備
- ◆ TGC北九州やCOOL KITAKYUSHU等のイベント実施



高塔山の夜景

IV 産業振興による市民の安全で快適な暮らしの下支え

安全安心な食の提供に不可欠な農林水産業の支援や、市民生活に直結する商業・サービス産業の振興に取り組みます。

- ◆ 老朽ため池や放置竹林の防災対策
- ◆ 「地域おこし協力隊」の活用による、農村地域の活性化



放置竹林対策

V 原油高・資材高等における緊急経済対策

原油高・資材高等に直面する事業者の資金繰りや経営に関する相談窓口の設置等、事業者に寄り添った支援を行います。

- ◆ 中小企業、小規模企業への必要な資金の融資
- ◆ 原油高・資材高、コロナ禍等に起因する経営悪化の相談窓口の設置



中小企業相談窓口

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。

令和5年度産業経済局予算要求方針

1 令和5年度産業経済局予算要求総括及び方針

(1) 令和5年度産業経済局予算要求総括

【一般会計】

職員数 241人（令和4年10月1日現在）
（うち正規＋再任用フル 239人）
（うち再任用短時間 2人）

令和5年度要求総額	61,900,156千円
	<u>(中小企業融資除く 11,900,156千円)</u>
(令和4年度予算額)	85,946,187千円)
	<u>(中小企業融資除く 10,946,187千円)</u>

前年度比 ▲ 28.0%
中小企業融資除く + 8.7%

【卸売市場特別会計】

職員数 16人（令和4年10月1日現在）
（うち正規＋再任用フル 16人）

令和5年度要求総額	1,339,358千円
(令和4年度予算額)	1,340,600千円)

前年度比 ▲ 0.1%

【渡船特別会計】

職員数 10人（令和4年10月1日現在）
（うち正規＋再任用フル 9人）
（うち再任用短時間 1人）

令和5年度要求総額	484,059千円
(令和4年度予算額)	430,200千円)

前年度比 + 12.5%

【産業用地整備特別会計】

令和5年度要求総額	908,556千円
(令和4年度予算額)	495,700千円)

前年度比 + 83.3%

【漁業集落排水特別会計】

令和5年度要求総額	37,278千円
(令和4年度予算額	45,700千円)
前年度比 ▲	18.4%

(2)令和5年度産業経済局予算要求の方針

中小企業の成長・事業の継続を支援するとともに、次世代産業の誘致や育成、まちのにぎわいを生み出すことにより、雇用の創出、地域経済の活性化、市民生活の向上を図るため、

- I 生産性の向上と次世代産業の誘致・育成
- II 中小企業振興と雇用対策
- III 観光・にぎわいづくりによる地域経済の活性化
- IV 産業振興による市民の安全で快適な暮らしの下支え
- V 原油高・資材高等における緊急経済対策

以上、5つの柱を念頭に効果的な予算を編成していく。

また、今後の成長戦略として、新たな産業振興計画を策定する。

2 重点的に取り組みを行いたい主なもの

新規

- ① 未来にはばたく産業振興戦略策定事業 20,000千円
未来にはばたく産業都市になるための方針となる(仮称)新産業振興戦略の策定に向けて必要な地域経済状況や世界・国のトレンドに関する調査及び検討会運営等を行う。

I 生産性の向上と次世代産業の誘致・育成

中小企業の生産性向上、カーボンニュートラルに向けた取り組みや、IT企業の誘致、次世代産業やスタートアップの支援を推進します。

- ◆ 事業者向けスクールや専門家派遣による中小企業のDX・GXの推進
- ◆ 首都圏IT企業や半導体関連企業の誘致
- ◆ スタートアップ企業の事業化や実証実験の支援
- ◆ ロボットや半導体、宇宙産業等次世代産業の振興



ロボット・DX推進センター

(1) DX・GX の推進

新規

- ② 未来を拓く次世代産業推進事業 112,472 千円
地域産業の高度化や新たな産業の創出、都市ブランド確立に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙産業などの次世代産業を推進し、研究開発の拠点化や人材育成・企業競争力の向上、施設のグリーン化などに取り組む。

拡充

- ③ 生産性向上、産業振興に向けたロボット・DX 推進事業 396,700千円
ロボット・DX 推進センターを中心として、市内企業の生産性向上や付加価値創出に向けて切れ目のない伴走支援を実施するとともに、ロボット・デジタル関連産業の振興を図る。

新規

- ④ 市内宿泊施設・観光施設の DX 促進事業 35,000千円
コロナ後の旅行需要の拡大、インバウンドの復活を見据え、本市の宿泊施設等による DX の加速に向けた助成を行い、その推進モデルの創出を目指すとともに、観光施設等についてはキャッシュレス化促進を支援する。

⑤ 未来の農業スマート化推進事業 34,000千円
国の「スマート農業加速化実証プロジェクト」を活用し、北九州市の農業形態に即したスマート化推進事業を実施する。

⑥ スマート水産業推進事業 5,000千円
主要な漁場(人工魚礁や天然礁等)を中心に、各種音波探知機による調査を実施し、得られた漁場データを漁業者に提供することで漁獲効率を向上する。

新規

⑦ 企業のグリーン成長支援事業 50,000千円
脱炭素に資する製品・サービスの創出や、自社内及びサプライチェーン上のカーボンニュートラルへの取組みなど、企業のグリーン成長・競争力強化に向けた伴走支援を実施する。

新規

⑧ グリーン成長を見据えた EV バス等活用事業 12,000 千円
ゼロカーボンシティの実現に向けた観光分野における脱炭素の取組を加速化させる事業として、EVバスで市内の日本夜景遺産を巡る夜景ツアーや修学旅行誘致促進のための洋上風力を活用したモニターツアーを実施するとともに、修学旅行で EV バスを活用し市内を周遊した旅行事業者に対し、助成を行う。

(2) 企業誘致の促進

新規

⑨ インベスト北九州推進事業 16,512 千円
企業の経営層へのアプローチや首都圏での本市企業誘致に関するプロモーションを強化することにより、半導体、電気自動車等の次世代産業や IT 企業の誘致を加速する。

新規

⑩ IT Scrum KitaQ 事業 3,000千円
産官学が連携し、ビジネスや就職マッチング、交流会の開催やプロモーションなどを通じて、北九州市の優位性や強みを広く発信することで企業誘致を加速させ、さらなる人材や企業の呼び込みを目指す。

⑪ 企業立地促進補助金 1,517,234 千円
企業立地を通じ本市産業の振興及び雇用の創出を図るため、一定要件を満たす投資等に対するインセンティブとして補助金を交付し、市外からの企業誘致や市内企業の工場等の新設や増設を促進する。

(3) スタートアップの成長支援

新規

⑫ スタートアップエコシステム強化事業 23,200 千円

スタートアップエコシステムの充実・強化に向けた事業戦略の検討、創業機運醸成に向けた環境整備、ものづくり企業とのマッチング等により、「ものづくり起業地帯」の実現に取り組む。また、福岡市との連携・交流事業を実施する。

新規

⑬ 海外スタートアップ誘致プロモーション事業 7,000 千円

スタートアップの日本進出が活発な台湾・シンガポールを中心に、政府機関、自治体、支援機関等と連携して、スタートアップの誘致プロモーションを実施する。

拡充

⑭ スタートアップ SDGsイノベーショントライアル事業

97,580 千円

環境・ロボット・DX など成長見込みのあるスタートアップ企業が行う事業化や実証実験の取組みに対して、補助金の交付に加え、産学官金が連携して、市内企業との協業や販路拡大など企業の成長を後押しする。

(4) 物流拠点化の推進

新規

⑮ 物流拠点化推進調査事業 10,000 千円

市内物流事業者が抱える課題の解消や、新たな貨物需要の本市への取込みなど、本市の更なる物流拠点化に向けた施策展開に必要な調査を実施する。

拡充

⑯ 九州発貨物の集約拠点化支援事業 32,000千円

九州の発貨物を本市に集積させる取組に対する支援の第一弾として、北九州市中央卸売市場等における農産物を集約した首都圏及び関西圏向けフェリー輸送に対し、必要となる経費の一部を補助する。

II 中小企業振興と雇用対策

中小企業の経営力を強化するとともに、人手不足や、高度人材の雇用ニーズに対応し、質の高い雇用の創出につなげます。

- ◆ 後継者の育成と後継者確保による事業承継の支援
- ◆ 「未経験者」から「即戦力」まで求職者のスキルに合わせたITリカレント教育



ITリカレント教育

新規

- ⑰ 「みらいつなぐ北九州」後継者確保事業 8,000 千円
親族や社内で後継者を育成したい市内中小企業を支援するため、後継者塾を新規開講する。また、後継者候補人材と事業承継に必要な資金を提供するサーチファンドを活用した第三者承継を支援する。後継者確保により、市内中小企業の優れた技術や経営資源を引継ぎ、新たな事業の創出・育成につなぐ。

新規

- ⑱ 新規顧客開拓・技術マッチング支援事業 3,000 千円
市内中小ものづくり企業の新規顧客開拓等を支援するために、関東・関西等の大企業を招聘してマッチング商談会を開催する。
併せて、発注企業主体の商談会とは逆のアプローチで、特徴のある技術や強みを受注企業側から売り込むマッチングサービス活用のニーズや可能性を調査する。

新規

- ⑲ 生産性向上・賃金引上げ応援事業 15,000 千円
市内の中小企業・小規模事業場の生産性向上と最低賃金引上げを応援するため、国の業務改善助成金(生産性向上のための設備投資等への助成)の交付決定を受けた事業場に対して、上乗せ補助を行う。

新規

- ⑳ 北九州市立大学と連携したITリカレント教育
「everiGo」プロジェクト推進事業 50,000 千円
(うち市負担分 36,267 千円)
北九大が開発した、求職者向けのITリカレント教育「everiGo」を、IT企業の意見等を踏まえ再編成し、「DX推進で活躍できるビジネススキル・知識の習得」から「即戦力IT技術の習得」まで、求職者のニーズに合わせた3つのプログラムを提供するとともに、「市の就業支援施設による伴走支援」、「進出IT企業等によるインターンシップの提供」など、出口一体型のきめ細やかな支援を行うことで、成長分野(IT企業等)への労働移動(就職・転職)、地元企業のDXを促進する。

新規

- ⑳ シニアと企業の出会いの場創出事業～「働きたい」シニア
活躍応援プロジェクト～ 12,200千円
働く意欲のあるシニア人材の就業促進と市内企業の人手不足の緩和を目的に、企業向けのシニア活用セミナーと仕事体験付き合同会社説明会をセットにしたマッチングイベントを開催する。

拡充

- ㉑ DX 時代に対応した第二新卒等採用力強化事業
22,300千円
(うち拡充分 2,300千円)
市内企業が全国から優秀な人材を獲得できるよう、WEB等を活用した「人材採用力」の育成から、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載までをトータルで支援するなど、U・Iターン転職を促進する。

拡充

- ㉒ アフターコロナの人材確保！外国人材活用促進事業
7,300千円
(うち拡充分 4,300千円)
コロナ禍の外国人材確保を促進するため、監理団体・登録支援機関と市内企業による相談会や情報発信強化に向けた専用ホームページの開設、さらに、外国人 IT 人材を市内企業に受け入れるモデル事業を実施する。

Ⅲ 観光・にぎわいづくりによる地域経済の活性化

観光資源の掘り起こしや磨き上げにより、観光産業の再生・復活を図るとともに、大規模イベント等による交流人口の増加に取り組みます。

- ◆ 「もう一か所、もう一泊」を促すプラスワン観光の促進
- ◆ 高塔山の夜景スポットの整備
- ◆ TGC北九州やCOOL KITAKYUSHU等のイベント実施



高塔山の夜景

新規

- ㉓ 高付加価値ホテル誘致事前調査事業 5,000千円
旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致に向けて、デベロッパー・運営会社等へのヒアリングや他都市の先進事例の調査を行うとともに、潜在的需要の把握・市内候補地の抽出など、誘致に必要な事前調査を行うもの。

新規

- ②⑤ 若松北海岸観光地化調査事業 6,500 千円
夕日の名所「遠見ヶ鼻」に代表される自然景観、地元産の新鮮な農水産物等の魅力的な食など、体験型・滞在型の観光地として高いポテンシャルを有する若松北海岸の観光地化に向けた諸課題の整理とともに、観光地としての魅力向上に向けた調査・検討を行う。

新規

- ②⑥ 夜景観光スポット創出整備事業 35,440千円
令和4年3月、本市は『日本新三大夜景都市』に全国1位で再認定された。市内外からの更なる誘客や街のにぎわいにつなげるため、新たな夜景観光スポットの創出・整備を行う。

新規

- ②⑦ もうーか所もうー泊を楽しむ「探検・北九州！ワンデイパス」事業 18,590 千円
宿泊者向け市内路線バスの1日フリー乗車券の発行、お勧めモデルコースを紹介する QR コードを市内宿泊施設の各客室などに設置し、来訪者に、もうーか所、もうー泊を楽しんでいただく「プラスワン観光」を促進する。

新規

- ②⑧ 北九州「旅のストーリー」磨き上げ事業 9,000 千円
市内に点在している観光資源を一つのストーリーとしてつないだモデルコースや、旅先での満足度を向上させる体験型観光メニューを更に磨き上げ、効果的なプロモーションを行うことで、市内周遊促進や観光客誘致を図る。

拡充

- ②⑨ インバウンド誘致強化事業 44,562 千円
(うち拡充分 29,562 千円)
外国人観光客の本格的な回復に向けて、周辺自治体等と連携して各種プロモーションを実施するとともに、広報物多言語化などの受入環境整備を行う。また、本市への誘客を目的とした宿泊助成やクーポン配付等を実施する。

新規

- ③⑩ 門司港レトロ地区回遊性向上事業 19,000 千円
門司港レトロ地区の滞在時間及び観光消費額の増加を目的とし、レトロ地区全体の回遊性を高めるため、観光案内板の見直しなどの基礎的なインフラ整備や専門家の招聘・PR などによる新たな魅力発見・コンテンツの充実に取り組むもの。

新規

- ③① 和布刈りブランディング事業 15,700 千円
国立公園の大自然パノラマや、豊富な歴史遺産を有する和布刈り地区を再興するため、地域資源のブランド化や磨き上げなどを行うもの。
- ③② TGC 北九州 2023 開催事業 35,000 千円
史上最大級のファッションイベント「東京ガールズコレクション」とコラボレーションした「TGC 北九州」を開催することで、市のイメージアップやにぎわいの創出、市民のシビックプライドの醸成を図る。
- ③③ COOL KITAKYUSHU 推進事業 37,000 千円
漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーをテーマとした九州最大級のイベントを開催することにより、「ポップカルチャーの街・北九州市」の魅力国内外に発信し、都心部の賑わいを創出する。

IV 産業振興による市民の安全で快適な暮らしの下支え

安全安心な食の提供に不可欠な農林水産業の支援や、市民生活に直結する商業・サービス産業の振興に取り組みます。

- ◆ 老朽ため池や放置竹林の防災対策
- ◆ 「地域おこし協力隊」の活用による、農村地域の活性化



放置竹林対策

新規

- ③④ 商店街リノベーションまちづくり推進事業 20,000 千円
商店街における民間事業者のリノベーションまちづくり推進に向けた拠点整備の取組を、本市がイベント開催などのソフト面を支援し、官民連携により中心市街地を活性化する。

新規

- ③⑤ 美食街道 week 推進事業 20,000 千円
「北九州の魅力あふれる食」をテーマとしたイベントを開催し、多くの方に本市の店舗の魅力を知ってもらい来客につなげることで、街のにぎわいを創出する。

新規

- ③⑥ 地域おこし協力隊による農村発イノベーション推進事業 6,350 千円
農業分野において「地域おこし協力隊」制度を活用し、隊員を地域の「火付け役」として地域おこしの実践を行う。これにより、農業に関係する又は関心のある人々を取込み、多様な担い手の交流による「農村発イノベーション」の創出を行うもの。

③⑦ ため池関連整備事業 164,383 千円

ため池を原因とする災害防止のため、ため池統廃合、ハザードマップ作成、監視カメラ設置等の安全対策を進め、防災重点農業用ため池(219 箇所)の劣化状況評価等を順次実施し、そのうち改修が必要なため池(1 箇所)を整備する。

③⑧ 放置竹林対策事業 41,581千円

放置竹林の拡大を防止するため、人工林・広葉樹林へ侵入した竹の伐採、放置竹林の皆伐及び他樹種への転換を行うとともに、放置竹林対策のすそ野拡大のため、市民参加による竹林管理への助成を行う。

また、竹材の活用を促進するため、竹の搬出に対する助成や、竹の利活用に関する情報を集約し、活動団体等に共有する仕組みづくりを進める。

③⑨ SDGs(持続可能な)農業支援事業 1,200千円

農業分野における環境負荷低減を目指し、放置竹林由来の竹パウダーによる土壌改良、化学肥料・化学合成農薬の削減効果など有機農業用資材としての活用検討等を行い、市内農家に向けた栽培技術の周知普及に取り組む。

新規

④⑩ 有害鳥獣捕獲体制強化事業 7,000千円

資材高騰の中、有害鳥獣捕獲で使用する銃弾やわなも価格が上がっている。この対策として、今後も継続して有害鳥獣駆除従事者に鳥獣捕獲を行ってもらうため、駆除従事者にイノシシ及びアライグマの捕獲頭数に応じた負担金を交付するもの。また、カラス対策として捕獲檻の設置管理及び忌避スピーカーの貸出を行う。

V 原油高・資材高等における緊急経済対策

原油高・資材高等に直面する事業者の資金繰りや経営に関する相談窓口の設置等、事業者に寄り添った支援を行います。

- ◆ 中小企業、小規模企業への必要な資金の融資
- ◆ 原油高・資材高、コロナ禍等に起因する経営悪化の相談窓口の設置



中小企業相談窓口

④① 原油高・資材高、コロナ禍等に対する事業者総合相談窓口運営事業

44,325 千円

原油高・資材高、コロナ禍等に起因する困難に直面した市内中小企業を支援するため事業者総合相談窓口を設置し、資金繰りや経営に関する相談対応を行うほか、訪問相談員による企業訪問を行い、きめ細やかな企業支援を行う。

④② 中小企業融資

50,000,000千円

中小企業、小規模企業の事業に必要な資金を融資することにより、資金調達を支援し、その経営基盤の強化や急変する経営環境への対応を支援する。